

元気で躍進 地域経済

「おもてなし企業」で県表彰

社員・地域・顧客の3者に対する「おもてなし」を大切にしながら経営を行う企業を表彰する県の2015(平成27)年度の「三重のおもてなし経営企業」の表彰企業に、松阪地区から(株)尾鍋組(本社)が選ばれた。

社員、地域、顧客の3者に対する「おもてなし」を大切にしながら経営を行う企業を表彰する県の2015(平成27)年度の「三重のおもてなし経営企業」の表彰企業に、松阪地区から(株)尾鍋組(本社)が選ばれた。

尾鍋組は、尾鍋哲也社長が選ばれた。尾鍋組を含め、受賞企業は4社。県では受賞企業の取り組みなどを発信することや、「おもてなし経営」の拡大を図りたい考え。

「おもてなし経営」は、顧客だけでなく、社員、地域にも目を向けたビジネスモデルとして経済産業省が定義するもの。3者へのおもてなしの実践で、過度の価格競争に陥ることなく事業の継続的

発展が期待できるとしている。

県による同表彰は今年で2年目。昨年4月に施行した「中小企業小規模企業振興条例」に基づき創設した。地域の中小企業の取り組みをたたえ、県内企業に広く知ってもらうことなどが狙い。昨年度は松阪地区の(株)イセオリ(本社)・(株)西肥留町、水谷信博社長)など7社が受賞している。

今年5月から7月に掛けて表彰企業を公募。3者に対する取り組みの成果や継続性、会社の事業の発展への貢献などの観点から審査した。社員に対しての評価点は「意欲や能力を引き出す取り組み」。地域社会には関わりを大切にされた事業や

活動」。顧客に対しては「高付加価値で差別化された商品などの提供」。3点をバランス良く満たす企業として表彰企業を選定した。

建設業の尾鍋組は、正社員数17人。社員への取り組みとしては、資格取得支援や報奨金制度、育児介護休暇制度の導入などが評価された。また、顧客に向けた独自性のある事業としては、三重大

学との共同研究で開発した地盤改良技術「エコジョ工法」を実施している。

地域・社会に対しては、災害時の公共土木工事や、エコジョ工法の代理店宿泊研修の地元施設での実施などが受賞事由に。全国から代理店が集まる研修では、飯高町赤桶の「つつじの里荒滝」を使用。「過疎化高齢化が進む地域・社会への貢献を行っている」と評価

された。

その他の受賞企業は、(有)キルドデザイン(亀山市、金属製品製造業)、(株)クラユニコーポレーション(津市、業務用衣料製造販売業)、(株)みなみ製麺(伊勢市、食品製造業)。表彰式は、11月20日に四日市市の四日市ドームで開かれる「みえリーディング産業展2015」内で開催。表彰企業の代表者に表彰状と記念品が贈られる。また、表彰企業の取り組みは、2021日の同展内で招待企業として展示して紹介。その他、県がホームページなどで情報発信を行う。